

- ・日 時：平成 23 年 12 月 2 日(木) 14:00～17:00
- ・場 所：J G S 会館 地下会議室
- ・出席者：國生，佐伯，内藤，岸田，菊池，佐藤，高橋，佐々木，伊藤，清木（西村代理），沓澤，末岡，王，青木(事務局)
- ・欠席者：金尾，赤木，石原，太田，小椋，東畑，重村，吉嶺，宮田，松島，若井，後藤，荏本，橘，竹山

1. 前回議事録等の確認（10/13） 【別紙－ 1】

2. 今期の体制（変更について）
特になし

3. 最近のスケジュール

- 第 1 回評議員会 : 平成 23 年 10 月 27 日（木）（終了）
- Geo Kanto（山梨） : 平成 23 年 11 月 10 日（木）～11 日（金）（終了）
- 第 5 回運営委員会 : 平成 24 年 2 月 8 日（水）（予定）

4. 本部からの連絡・検討依頼事項

- (1) 第4期代議員の推薦について 【別紙－ 2】
→最終の確認を行っている段階であることを報告，了承.
- (2) 平成 23 年度本部支部懇談会 【別紙－ 3】
→懇談会資料を配布し，概要を説明.
- (3) <事業企画賞>候補案および審査員選出について 【別紙－ 4】
→候補案提出および審査員選出について報告し，了承.
- (4) オンデマンド講習会（団体視聴）について 【別紙－ 5】
→本部からの案内を報告.
- (5) 平成 23 年度支部交付金（前期分）送金のお知らせ 【別紙－ 6】
→本部からの交付金が予算に対して約 150 万減額となった経緯について報告し，了承.

5. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 関東支部からの転載許可を出す手順について 【別紙－ 7】
→関東支部の窓口は，今後企画総務グループが担うこととする.
- (2) 支部表彰規定について 【別紙－ 8】
→推薦は支部会員からのみ受付.
→表彰者が重複しないよう，本部との情報交換が必須.
→表彰対象の期間は，一回目（支部 10 周年）は長めに，その後は数年に設定.
→次回運営委員会に本日での指摘事項を踏まえた表彰規程案を提出
- (3) 神奈川県 G 予算の件 【別紙－ 9】
→了承.
- (4) 関東地整局長訪問について 【別紙－ 10】
→支部発表会への協力をお願いした．表彰に対する加点評価については消極的.
- (5) 浦安市からの業務委託について 【別紙－ 11】
- (6) H23 年度予算執行状況（10 月末現在） 【別紙－ 12】
→関東の地盤の売り上げ（本部に販売委託していた分：287 万）を計上.

6. 開催結果，進捗状況の報告

- (1) 特別講演会「今迫りくる大災害の危機」 【別紙-13】
- (2) 「東日本大震災に学ぶ 群馬の備え」講演会案内 【別紙-14】
- (3) 【共催】「千葉県技術講習会」開催のご案内 【別紙-15】
- (4) 【共催】平成23年度「埼玉県地質調査業協会技術講演会」のご案内 【別紙-16】
- (5) 「山梨県勝沼堰堤と大日影トンネルに関する現地見学会」開催のご案内 【別紙-17】
- (6) 【案内】「GUPI 事業報告と意見交換会」のご案内 【別紙-18】
- (7) 「平成23年度 神奈川県地盤工学セミナー」のご案内 【別紙-19】
- (8) 大いなる神奈川の地盤 その生い立ちと街づくり
野外巡検「相模平野の微地形を見よう」開催のご案内 【別紙-20】
- (9) 【共催】”彩の国”市民科学オープンフォーラム
「わが身、わが家を守る 東日本大震災の教訓」のご案内 【別紙-21】
- (10) 関東支部ニューズレターNo. 25

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービス G 【別紙-22】
 - アフター5（三嶋氏）については、若手に参加してもらえよう、Geo Kanto 参加者、教員などから働きかけをする必要がある。
 - 研究所探訪は、対応可能機関を登録の上、4つのコース（大学学部1～3年生、中高生、大学学部4年生と院生、一般）に分けて実施することを考えている。
 - 中高生や一般については、地方公共団体の生涯学習課、大学の付属中学・高校、出前授業に行った学校等に案内を出すのが効果的。
 - 海外からの来訪者を対象にするのも良い。
- (2) 茨城県 G
- (3) 栃木県 G 【別紙-23】
 - 参加費は、県グループごとに考え方に違いがあるが、CPD 1ポイント当たり、1,000円が目安。
 - 参加してもらいにくい地方公共団体の職員等に対して招待状（無料）を出すということも考えられる。
 - 会員増強のためのキャンペーンを行う（支部から費用を追加して講習会等を開催し、参加者に会員になってもらう）ということもあり得る。
- (4) 群馬県 G 【別紙-24】
- (5) 山梨県 G
- (6) 千葉県 G 【別紙-25】
- (7) 埼玉県 G
- (8) 神奈川県 G
- (9) 研究委員会 G 【別途資料】
 - リスク委員会の出版については、まず、本部の出版企画委員会と相談のこと。
 - 地下水位委員会の講座執筆については、特に問題なし。
 - 研究委員会グループの内規変更については、概ね了承。公募委員は原則会員とするが、必要があれば非会員も参加いただける、という趣旨に変更。
 - 平成24年度新設研究委員会活動テーマ案募集については了承。
 - 今年度終了予定の2委員会の成果普及活動委員会への移行は了承。群杭委員会については、継続としないこととし、委員長の意向を確認。場合によっては、新規応募してもらう。
 - 地盤DB委員会の予算計画については、了承。
- (10) 支部発表会 G 【別紙-26】
- (11) 企画総務 G 【別紙-27】
 - 工法協会交流会は、今年度は液状化対策工法を対象としたところ、29協会が参加表明。3回に分けて実施し、各回、特別講演も行う。参加費は1回500円。

8. その他

- (1) 退会届

・大日本コンサルタント H23.11 4級 諸般の事情により

(2) 功労賞推薦・名誉会員推薦

(3) 次回(第5回)運営委員会予定日 平成24年2月8日(水) 14:00~17:00

→次回は、来年度予算案・活動計画を報告していただきたい。

予算については公益区分ごとに計上し、そのための雛形を配布予定。

(4) BCP委員会から、本部の学会のBCPを考える委員会に元委員等が何名か参加することになったとの報告があった。

以上